

ながはた

長畑ひろのり News



ご意見は次の e メールアドレスへ
公式HP & ブログは次のURLへ

sky@nagahata.jp

phone : 072-878-3205

http://nagahata.jp

fax : 072-877-1194

こんにちは、市政報告です！

大阪外環状線(R170)より第二京阪道路(R1)に入り、京都方面へ2.5km程走りますと、寝屋川公園を越えた辺りで左手に大きな建物が急ピッチで建設されているのが見えると思います。今号はその建物の概要を中心に書かせて頂きます。

「(仮称)ビバモール寝屋川」について

四條畷市長が誘致に力を入れているイオンモールが計画の段階からあまり形として見えないのに対して、寝屋川市の寝屋南地区における大型商業施設は昨年9月より工事にかかっており、下記内容の完成を旨とし着々と進んでいます。

ビバモール寝屋川イメージパース



トステムビバ概説資料より(平成22年6月27日)

計画概要 開発場所：寝屋川市寝屋南2丁目
開発面積：78,306.60㎡(23,688坪)
建築規模：地上3階、地下1階
建築面積：38,276.79㎡
延床面積：77,093.59㎡
駐車台数：2,210台
駐輪場：890台

工事期間：平成22年9月～平成23年4月中旬

※寝屋川市へ提出している内容であり変更の可能性あり。

以上様になっています。しかし、平成22年7月30日付け建通新聞社の建設ニュースによりますと、内容はもう少し踏み込んだものとなっていますので、次に抜粋します。「…2011年3月10日の開店を目指して手続きと施設の建設を進める。…店舗面積の合計は3万7,208㎡。駐車

場の収容台数2,138台、駐輪場の収容台数573台…3棟の商業施設を建設する計画で、小売店舗の総延べ面積は約7万6,940㎡に及ぶ。A敷地にはスーパービバホーム棟(2階建て)とモール棟(地下1階地上2階建て、太陽光パネル設置)を建設。店舗面積1万8,544㎡のトステムビバのほか、UTAYAを展開するカルチュア・コンビニエンスクラブ、総合スーパーの平和堂の出店が決まっている。…トステムビバは、主に東日本を中心に店舗を展開しており関西への出店は初。店舗面積は同社最大となる。…」

細かい数字はトステムビバの概要説明と異なりますが、四條畷市民の十分商圈と成り得る範囲に、大型施設がオープンします。最新情報ですが、開店は予定より遅れ、5月にずれこむかも知れないとの事です。



地図：寝屋川市寝屋南土地区画整理組合HPより

次に関西初

進出となるトステムビバについてです。店舗数は84店。事業内容は「カー用品、大工資材用品、園芸用品、ペット及びペット用品、家庭日用品、インテリア用品、家庭電器製品、文房具、レジャー用品、スポーツ用品、時計、エクステリア用品、住宅設備機器等の小売業および住宅リフォーム」で、ホームセンターコーナンと同じ形態の店舗と言えるでしょう。

四條畷市を過ぎた京都方面は、なぜか車線が減少する第二京阪道路。渋滞も今以上に起こると予想されます。

ビバモール寝屋川イメージパース



「四條畷市史」について

市制40周年を記念して、平成22年12月に「歴史とみどりのまち ふるさと四條畷」が刊行されました。

実はこの本ですが、私が議員だった時に議場で質問した内容そのまま取り入れて頂き刊行されましたので、嬉しさもひとしおです。

以下に市制40周年に向けて私がした平成21年6月議会における質問をそのまま添付します。

「…次に作成を予定しているのが市勢要覧2010年版とのこと。これは5年前にも作成されており、そういう点から考えますと5周年ごとに作成する定期刊行物のようなもので、今回は丸周年ですから、やはりそれに見合うものが必要かと思えます。そこで具体的な案ですが、少ない職員体制の中、通常の業務に無理のかからない程度で考えますと、櫻井先生が広報誌に書かれていたものをまとめるとか、現在、歴史民俗資料館で進めている拓本などを一冊の本にできれば、それこそ購入された方にも満足いただける素晴らしいものになると思うのです。“こども歴史・わたしたちの四條畷”を発刊した費用なども含めて私の考えについて答弁をいただきたいのですが、これは社会教育の方からお願いいたします。…」

昭和47年に市制施行を記念して刊行した四條畷市史第一巻。その後、資料編や史跡総覧としてシリーズは四巻となりましたが、市史としては不十分であると私は常々思っていました。何故ならメインとなる第一巻は、昭和45年の市制施行に向けて編集を行っているため、当然、内容は四條畷町のことに触れるのみで市史と言いながら町史でしかないのです。それでも、子ども向け市史が平成18年3月に出版され、そして、今回の“ふるさと四條畷”も刊行により四條畷の歴史を知る上には充実してきたと思います。

しかし、四條畷市史のシリーズ四巻に変わる、本当の意味での市史を10年後の50周年に向け作成しなければならないのでしょうか。行政として、新四條畷市史の刊行に向け今から取組んで頂くことを願います。



1冊1,200円で、四條畷市立図書館及び四條畷市歴史民俗資料館にて販売中です



自由な発想シリーズ ③

「観光名所作成計画(案)」について

議員でない一市民としての、事業費も考えない自由な意見を書くのも今回で3回目となりました。お付き合い下さい。

昨年6月28日、麻生太郎元首相は「ハリウッドに匹敵するような観光名所を作ればいいと言ったら「国営マンガ喫茶」だって。レベルが低いよね」とJR秋葉原駅前で応援演説をしました。内容はともかく前半については納得できます。

ハリウッドは映画のまちで観光名所としての存在価値は十分あり、特に“Kodak Theatre”ではオスカーの授賞式も行われます。しかし、授賞式以外の主な観光名所と言えば、テーマパークであるユニバーサルスタジオを除けば、次の画像の3点ではないでしょうか。(下記画像はWikipediaより)



左画像は、山に立てられた“Hollywood Sign”で、晴れた日には40~50km離れた場所からも見えるそうです。

中央画像は、“Hollywood Walk of Fame”で、星型プレートにスターの名前が刻まれた物を歩道に埋め込んだものです。

右画像は、Grauman's Chinese Theaterの前庭にスターのサインや手型足型が埋め込まれたものです。

麻生元首相の言われるように「ハリウッドに匹敵するような観光名所」まで内容の伴ったものが出来れば良いでしょうが、3枚の画像程度であれば十分四條畷でも可能でしょう。

そこで私は畿内から四国まで支配した“飯盛山城”を活用すべきと考えます。飯盛山城の復元は資料となる文献が少なく難しいのですが、Hollywood Signの様な物は可能でしょう。

ハリウッド映画の歴史と比べ物にならないぐらいの歴史が飯盛山城にあります。いたる所に現存する石垣を観光地として整備する。また、飯盛山城においてキリスト教が布教された事実、日本最古のキリシタン墓碑が本市で発見されているのです。この河内キリシタンの文化を使わない手はありません。飯盛山城と組み合わせれば良いのではと考えるのです。

土日、市立四條畷東小学校の駐車場を開放し、そこから飯盛山城までの散策路を整備する。Hollywood Walk of Fameのような発想で、石畳に武将の名前を入れる案も楽しいでしょう。同時に空き教室を利用して休憩所とし、そこで飯盛山城の歴史を紹介する。また人が集まれば地産農作物の販売も可能かも知れません。道の駅的な発想です。・・・麻生元首相の言われたように・・・『観光名所は作れば良い』のです。